令和４年度　指定管理者モニタリング評価表

（基本様式１）

1. 施設の概要等

施設の概要	施設の名称	諏訪市障がい者デイサービスセンター	担当課	社会福祉課障がい福祉係
	所在地	諏訪市小和田１９－３	開設年月日	平成15年10月6日
	施設設置目的	障がい者の自立促進、生活の改善、身体機能の維持向上等を図ることができるよう、通所により創作活動、機能訓練等の各種サービスを提供することにより、障がい者の自立と社会参加を促進する。		
	施設内容	鉄筋コンクリート造り　1階（3階建）　延べ床面積236.32㎡		
	指定管理者	諏訪市社会福祉協議会	選定方法	(公募)（応募者数　）・非公募
	指定期間	令和3年　4月　1日　～　令和　8年　3月31日　（　5 年間　）　（　2年目　）		
	指定管理者の主な業務	・デイサービスセンターの施設、設備の維持管理 ・デイサービスセンターで提供する地域活動支援センター及び生活介護サービスの提供 ・デイサービスセンターで提供するサービス利用に係わる契約 ・デイサービスセンターで提供するサービス業務（機能訓練、社会適応訓練、更生相談、介護方法の指導、スポーツ及びレクリエーション、健康指導、創作活動、入浴サービス、給食）		
	利用料金制の導入	(有)・　無	指定管理料	有　・　(無)

施設の利用状況等

指　標　（単位）	利用目標	利用実績	前年度実績	対目標比（%）	対前年比（%）	備考
全体	5,000	4,228	4,759	84.6%	88.8%	
地域活動支援センター事業	2,000	1,845	2,065	92.3%	89.3%	
生活介護事業	3,000	2,396	2,694	79.9%	88.9%	

【特記事項】新型コロナウイルスによる休業…９日間

収支

指定管理者収支（令和４年度）				市の収支			
計画額		収支実績額			令和４年度決算		令和3年度決算（前年度）
項　目	金　額（円）	項　目	金　額（円）		項　目	金　額（円）	項　目	金　額（円）
収入 自立支援費等	37,127,000	自立支援費等	31,636,900	収入				
収入 雑収入	52,000	雑収入	93,000	収入				
収入 ｻｰﾋﾞｽ区分間等繰入		ｻｰﾋﾞｽ区分間繰入		収入				
収入 積立金取崩収入		補助金収入	148,779	収入				
収入				収入				
収入 計	37,179,000	計	31,878,679	収入 計	0		計	0
支出 人件費	30,171,000	人件費	28,764,296	支出				
支出 事業費	7,025,000	事業費	7,364,187	支出				
支出 事務費	424,000	事務費	152,274	支出				
支出 負担金	72,000	負担金	92,350	支出				
支出 その他	521,000	その他	483,472	支出				
支出 固定資産取得支出		固定資産取得支出		支出				
支出 ｻｰﾋﾞｽ区分間等繰出		ｻｰﾋﾞｽ区分間等繰出		支出				
支出				支出				
支出 計	38,213,000	計	36,856,579	支出 計	0		計	0
損益	△ 1,034,000		△ 4,977,900	差引	0			0

2. 指定管理者及び（市施設所管課）による評価・・・別紙

3. 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和5年３月
	調査対象	利用者全員（49名中、回収43名）
	調査方法	記述式※記入困難の方は聞き取り
調査結果	デイサービスの利用（雰囲気、日中活動、入浴、職員の対応）に関して9割程度の方が満足（”どちらでもない”含む）と回答されている。各項目に関して1割程度の方が不満と回答された。 また、以前より要望の声があった年末年始休業中の入浴に関して、8名の方が困ったと回答されている。	
利用者からの意見要望・苦情等	・デイに通うようになり出来ることが増えてよかった。 ・ほとんどの職員が優しく接してくれる。 ・職員により対応、言動が異なることが気になる。 ・利用者さんの障害が様々で、悪いところばかり目にするようになった。 ・入浴のマナーなどを守ってほしい。 等	

4. 指定管理者による自己評価

令和4年度の自己評価	4年度は新型コロナウイルスの発生による9日間（8/10～8/12,12/5～12/13）の休業のため、昨年度よりも利用者数が減少した。また、体調不良による入院や利用休止も増加しており、新規利用者の受け入れを増やすものの全体的な利用者数の増加が伸び悩む要因となっている。
今後の目標	アンケート結果を踏まえ、サービスを向上・維持するための取り組みや研修が必要であると感じる。また、年末年始休業に長期間入浴ができなくて困るという方も居ることが分かったため、対応について協議をしていく必要がある。

5. 市（施設所管課）による総合評価

総合評価の基準

A（1．0）　36項目評価が72点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。

B（0．8）　36項目評価が58点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。

C（0．5）　36項目評価が45点以上で、アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容も評価できる。

D（0．2）　アンケート調査、セルフモニタリングの方法自体に改善を必要とするところがある。

E（0．0）　アンケート調査等が実施されていないなどの基本的な問題がある。

	配点	評価
多様な障がいを持つ方に対し、基準を上回る職員配置により適切にサービスを提供している。一方、利用者の減少が続き、収支が悪化しているため、利用者の増に一層取り組む必要がある。	10	B
	点数	8

判断の基準	
80点以上	「優良」
65点以上80点未満	「良」
50点以上65点未満	「標準」
50点未満	「不可」※

※「不可」の場合は、指定管理者の取り消しの処分を含め早急な改善対応を検討する必要があります。また、「優良」の場合は、施設所管課と制度主幹課で再確認作業を行うこととします。

合計点数
76.8

判断結果
良

令和4年度　指定管理者モニタリング評価表

（別紙）

2. 指定管理者及び市（施設所管課）による評価

※施設の目的に沿って評価項目の追加・削除をすることができる。
※施設の目的に沿って評価項目の配点に重み付けを行うことができる。

評価項目			評価					評価に対する説明
大項目	中項目	小項目	配点	指定管理者	市			
				評価区分	評価区分	乗率	点数	
1 管理能力	適切な管理運営	市の方針、施設の設置目的、業務等を的確に理解した管理運営はされているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		公共の仕事という倫理性や法令遵守について認識し、対応しているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	市民の平等利用	正当な理由なく、一部の市民に利用制限や優遇が行われていないか。	1	B	B	0.8	0.8	
		事業内容に偏りがあり、利用者が限られていることはないか。	1	B	B	0.8	0.8	
	適切な組織・体制	職員体制や人員配置は適正であるか。	2	A	A	1.0	2.0	加算を算定できるうえ、職員8名全員が資格を取得している。
		現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか。	3	B	B	0.8	2.4	
		労働関係法令等を遵守した労務管理規定等を整備し、従事者の適正な労働条件を確保しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	職員研修・人材育成	職員研修や業務指導に関し、適切に実施されているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	安全対策・緊急時対応	事故や災害等の緊急時のマニュアルが整備され、連絡体制が確立しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		利用者の安全確保に対する研修・訓練等を実施し、職員が内容を熟知しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		施錠・警備等の防犯体制は適切であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
	個人情報及び秘密の保護	個人情報及び職員が業務上知り得た秘密について、職員への指導の徹底と対策が講じられているか。	4	B	B	0.8	3.2	
	情報公開	協定書等に従い、情報を適切に管理し、公表できる体制が整っているか	2	B	B	0.8	1.6	
	経理及び事務処理等	専用の口座、経理帳簿や台帳を整備し、適切に経理事務が行われているか。	2	A	B	0.8	1.6	
		現金管理の方法は適切であるか。	2	B	B	0.8	1.6	
		業務日誌、各種報告書を適切に作成・整備し、遅延なく市に提出されているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	団体の経営状況	団体の経営状況は安定しているか。	2	B	B	0.8	1.6	
2 施設の運営	事業運営	事業計画書に基づき、適切に事業が実行されているか。	3	B	B	0.8	2.4	
		事業の内容や施設の有効利用に創意工夫がされているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	施設の維持管理	仕様書等に基づき、清掃、警備、衛生の点検・管理が適切に行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		仕様書等に基づき、施設、設備の点検・管理が適切に行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
		利用に支障をきたすような状況を放置せず、適切に修繕が行われているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	再委託業務	再委託されている業務の範囲・理由等は適切であり、かつ委託先の業務を適切に管理しているか。	0		B	0.8	0.0	
	備品の維持管理	備品台帳に基づき備品を適切に管理され、その機能が失われていないか。	2	B	B	0.8	1.6	
	利用状況	利用者数、稼働率が設定した目標に対して適正な水準であるか。	3	B	D	0.2	0.6	利用者の減少が続いている。
	利用の促進	施設の利用促進に努めているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	利用者へのサービス	利用者へのサービス向上に努めているか。	4	B	B	0.8	3.2	
	障がい者等への配慮	障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか。	5	B	B	0.8	4.0	
	要望・苦情等への対応	利用者アンケートが適切に実施されており、要望・苦情等に適切に対応しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	セルフモニタリング	セルフモニタリングが適切に行われ、改善に結びつける方策がとられているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	環境への配慮	省エネ等環境負荷の軽減や周辺環境に配慮するとともに、廃棄物は適切に処理されているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	地域連携・地域貢献	地域の住民や関係団体等との連携に積極的に取り組んでいるか。	3	B	B	0.8	2.4	
		市内事業者の活用、市内の雇用など地域への貢献への配慮がされているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	自主事業	施設の設置目的に沿って自主事業を実施し、サービス水準の向上に寄与しているか。	3	B	B	0.8	2.4	
	経費節減・業務効率化	事業計画書に基づき、経費節減や業務効率化が実行されているか。	2	B	B	0.8	1.6	
	収支・決算	予算に従い適切に執行されており、収支予算書と比較して収支状況が適切であるか。	3	B	D	0.2	0.6	予算に比し、収入の減少があるが改善に取り組んでいる。
計			90				68.8	

評価の基準

A	（1．0）	高いレベルで実施されており、高く評価できる
B	（0．8）	協定書、仕様書、事業計画書等に基づき適切に実施されており、問題は見られない
C	（0．5）	協定書、仕様書、事業計画書等に基づき概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分が確認されたが、既に改善済みである。
D	（0．2）	協定書、仕様書、事業計画書等に基づき概ね適切に実施されていた。一部に不適切な部分が確認されたが、現在改善に向け対応中で、近日中に改善される見込みである。
E	（0．0）	不適切な部分が確認されたので改善を指示したが、未対応又は改善の見込みがなく、指定管理者の取消の処分を検討する必要がある。

合計
68.8